

人民元週間レポート

2026年7月17日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

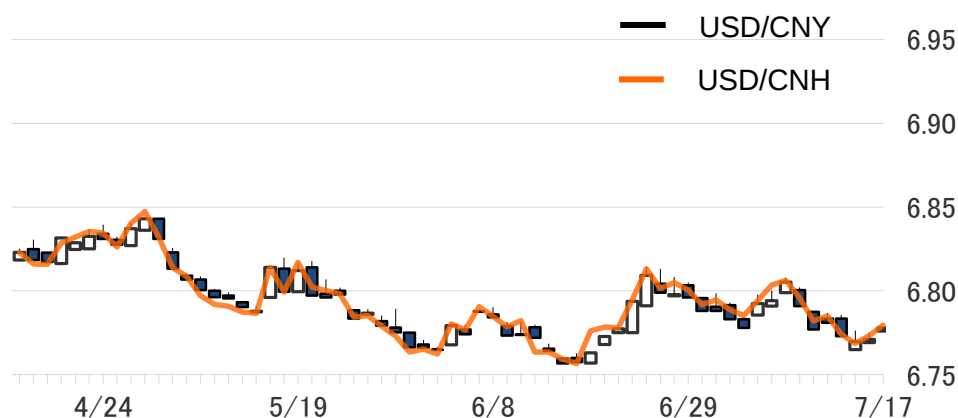
回顧: USDCNYは中国第2四半期GDPなどの経済指標発表を受け、一時上昇するも総じて小動き

- ドル人民元(USDCNY)は13日、6.78台前半でオープン。先週末のイラン情勢にかかるネガティブな報道を受け、原油価格上昇・ドル高が週明けのマーケットがオープンする中、USDCNYは前週末比ギャップアップして始まり、オープン後に6.78台半ばまで小幅上昇。14日は米経済指標が予想を下振れたことを受け、全般的にドル安が進行する中、一時6.76台後半まで下落。15日は中国第2四半期GDPや国内主要経済指標が発表され、一部経済指標が市場予想を下回ったことなどを背景に6.77台まで上昇。16日は動意に乏しい推移となり、17日午前11時時点では6.77半ばにて推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は13日、4.18台でオープン。「GPIFの資産構成割合の変更想定せず」との内容が報じられたことなどを受け、ドル円が162.40近辺まで上昇する中、JPYCNYは4.17台まで下落。14日は米6月CPIが市場予想を下回る結果となったことを受け、ドル円が161円台に下落する中、JPYCNYは一時4.19台まで上昇。しかし、その後ウォーシュFRB議長が初の議会証言に臨み、タカ派なコメントが見られたため、ドル円が下げ幅を埋める展開にJPYCNYはすぐに4.17台に押し戻される展開となった。週後半にかけては概ね4.17台でのレンジ推移となり、17日午前11時時点で4.17台前半にて推移している。

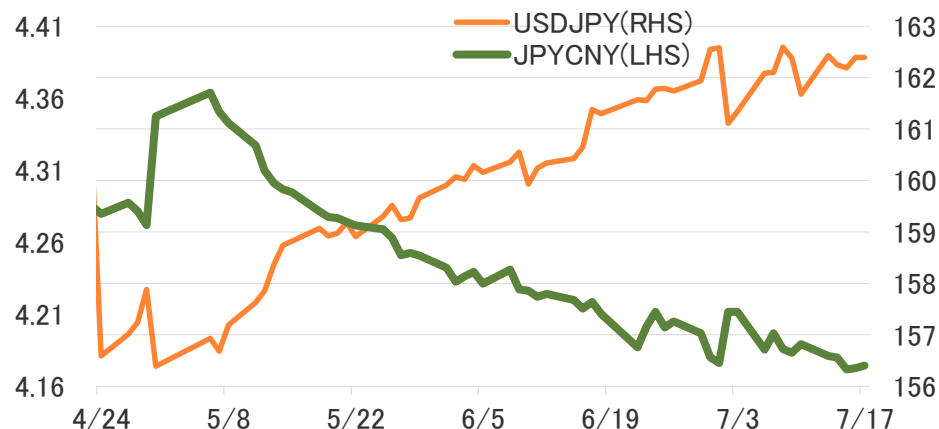
見通し: 来週は落ち着いた展開が予想されるも、引き続きイラン情勢動向には注意が必要

- USDCNYは、今週重要な国内経済指標が相次いで発表され大きな反応はなかったものの、今後の政策動向次第で影響が及ぶ可能性もあることから注目したい。足元では明確な方向感なく、落ち着いた値動きとなるも、先週末イラン情勢にかかる先行き不安が再燃し、引き続きイラン関連のヘッドラインには注意したい。
- JPYCNYについては、来週は目立った材料に乏しく、こちらも動きづらい展開を予想する。ドル円が162円台で高止まっており、依然として介入警戒感が燦る中、直近高値である162.84を試すには新たな材料が必要と考える。再来週に米FOMC、日銀金融政策決定会合等を控える中、積極的に上値を試す展開は想定しづらく、ドル円が162円台にとどまることを基本線とすると、結果的にJPYCNYもレンジ推移を予想する。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

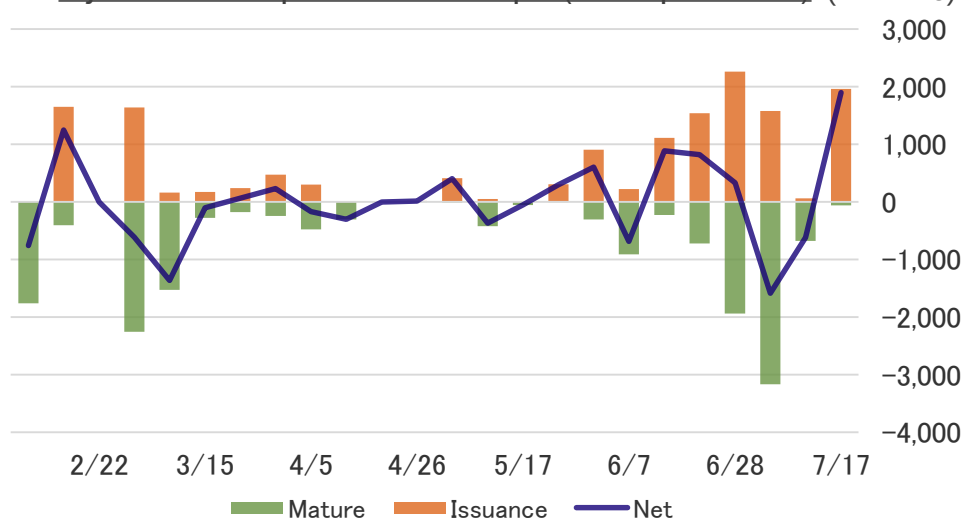
回顧：中国第2四半期GDPなどの経済指標発表を受け、一時金利低下する場面があるも1週間通せばほぼ横ばい推移

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計1兆9,635億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで1兆9,015億元の資金供給となった。
- 短期資金市場は、今週税期をむかえ、資金流動性がタイトになる場面も見られたものの、連日PBOCから大口資金供給が実施される中、資金流動性は改善。他方、金利水準の高止まりは継続しており、O/N金利は1.39%近辺で推移している。
- 債券市場は、中国第2四半期GDPや国内主要経済指標（小売売上高、鉱工業生産、固定資産投資など）が一部市場予想を下回る結果となったことなどを受け、中長期ゾーンを中心に小幅に金利低下するも、その後は債券売りフロー（金利上昇方向）が優勢となる中、金利低下幅を縮小。1週間を通してみると、前週比ほぼ横ばいとなり、2年債利回りは1.27%付近、5年債利回りは1.43%台近辺、10年債利回りは1.73%近辺にて推移。

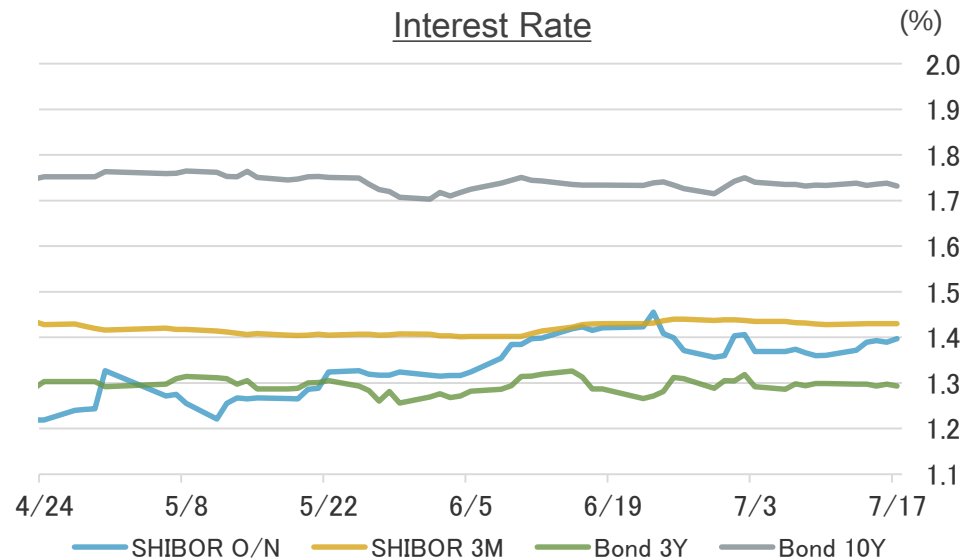
見通し：今後の政策動向には注目。来週は材料に乏しく方向感に乏しい展開を予想

- 短期資金市場では、今週税期をこなし資金需要は緩んでいる状況。加えて、PBOCが大口資金供給を行うなど、緩和的な政策スタンスを継続していることから、潤沢な資金流動性が継続する中、O/N金利は緩やかな低下方向を見込む。
- 今週は重要な国内経済指標が相次いで発表され、特に中国第2四半期GDPが市場予想前年比+4.5%に対し、実績同+4.3%にとどまったことを受けて今後の政策動向に注目したい。追加緩和期待が高まる動きとなれば、金利低下する可能性もあるため留意し望みたい。来週は特段主立った材料がない一方、再来週は米FOMCや日銀金融政策決定会合など、海外主要中銀のイベントを控えるため、来週は動きづらく方向感に乏しい展開を予想する。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



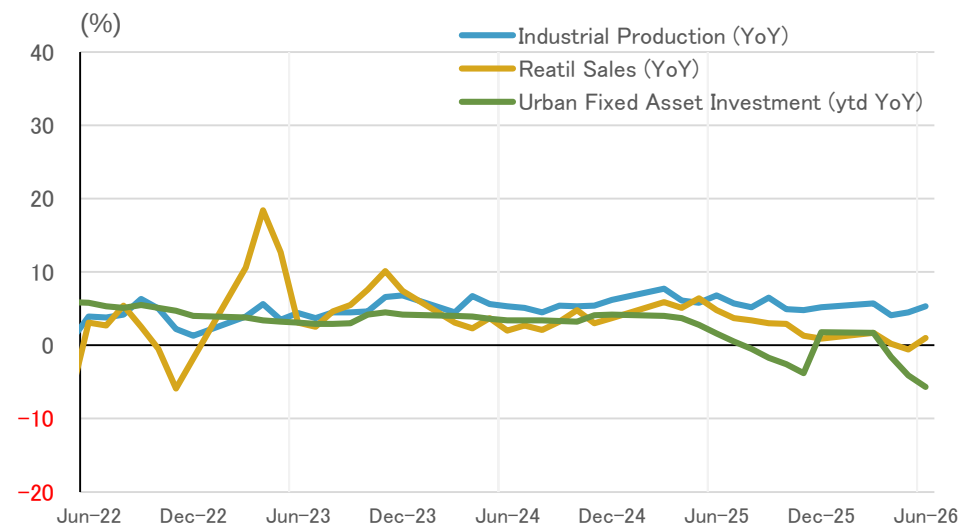
Interest Rate



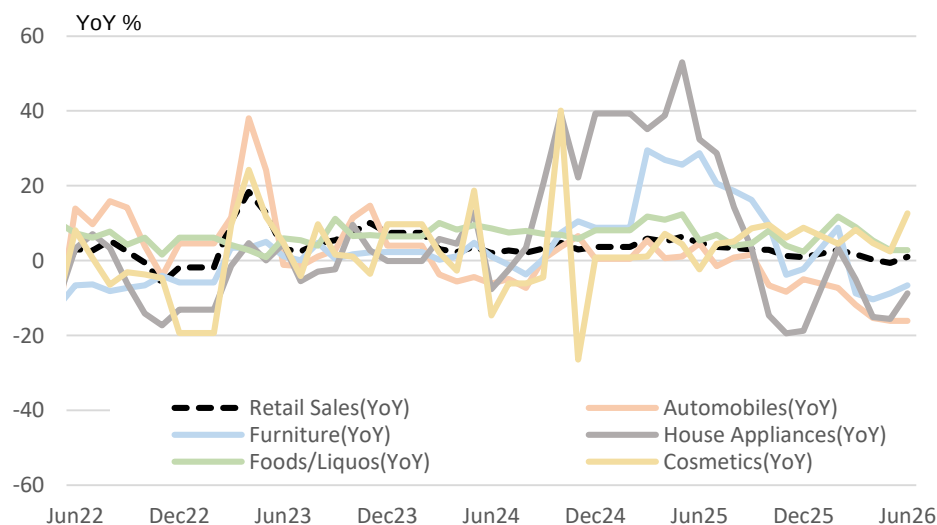
【TOPICS】 6月国内主要経済指標を公表

- 7月15日、国家統計局は6月小売売上高・鉱工業生産・都市部固定資産投資を公表した。内容としては小売売上高が前年比+1.0%（予想▲0.1%、前回▲0.6%）、鉱工業生産が同+5.3%（予想+4.6%、前回+4.5%）と市場予想を上回り伸び率が加速する一方、都市部固定資産投資（年初来前年比）は▲5.7%（予想▲5.0%、前回▲4.1%）となり、一段と下げ幅を拡大した。
- 個人消費を映す小売売上高は市場予想に反してプラスとなり、前回対比やや持ち直した。内訳を見ると、自動車が増前年比▲16.1%と前回に続き落ち込み幅が大きく、一方で家電（同▲8.7%）や家具（同▲6.6%）などは引き続き前年比マイナス圏での推移となったものの、マイナス幅は縮小した。
- 7月13日に中国国務院（政府）より消費拡大に向けた5か年計画が初めて発表され、2030年までに小売売上高を60兆元に拡大する計画が示された。2025年の50.1兆元と比較して単純計算で年率3.7%程度の伸びが必要になるため、今後の政府の政策動向には注目していきたい。

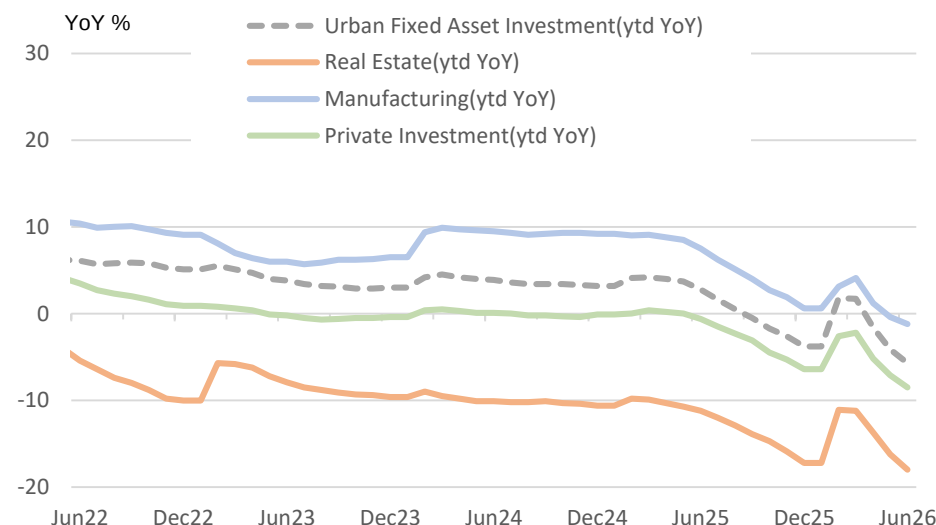
小売売上高・鉱工業生産・固定資産投資



小売売上高（内訳）



固定資産投資（内訳）



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
7/13	6.7835	6.7866	6.7760	6.7817	6.7972
7/14	6.7835	6.7853	6.7670	6.7779	6.7990
7/15	6.7650	6.7760	6.7635	6.7711	6.7910
7/16	6.7692	6.7747	6.7656	6.7678	6.7909
7/17	6.7760	6.7785	6.7709	6.7773	6.7934

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
7/13	6.7818	6.7896	6.7780	6.7851	6.7862
7/14	6.7851	6.7880	6.7691	6.7740	6.7858
7/15	6.7740	6.7782	6.7652	6.7687	6.7696
7/16	6.7686	6.7755	6.7649	6.7732	6.7690
7/17	6.7732	6.7799	6.7721	6.7795	6.7780

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	7/13	LOW	HIGH	7/17
ON	1.3720	1.3720	~	1.3971
1M	1.4120	1.4120	~	1.4199
3M	1.4290	1.4290	~	1.4300
6M	1.4435	1.4435	~	1.4459
1Y	1.4735	1.4715	~	1.4722

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.7835	6.7866	6.7635	6.7773
100JPY/CNY	4.1853	4.1886	4.1704	4.1744
EUR/CNY	7.7263	7.7653	7.7191	7.7550
HKD/CNY	0.86480	0.86590	0.86309	0.86445
GBP/CNY	9.0692	9.1617	9.0529	9.1145

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	161.72	162.55	161.63	162.39
EUR/USD	1.1419	1.1483	1.1378	1.1442
EUR/JPY	184.71	186.04	184.31	185.80
GBP/USD	1.3396	1.3558	1.3342	1.3478
AUD/USD	0.6957	0.7021	0.6913	0.6996

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行